



令和6年6月20日

第128号

発行 油縄子学区コミュニティ推進会

調査広報部

TEL (38) 7531

<http://www.net1.jway.net/jp/c-yunago/index.html>

令和六年度

会長挨拶

白土敏夫

新緑の候、皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今年、一月一日に発生した能登半島地震による大災害、一月二日には日本航空と海上保安庁の航空機が衝突事故を起こしたなど暗いニュースが流れてきて衝撃を受けました。一方、油縄子小学校においては四月十四日に創立七十周年を迎え、記念式典が盛大に行われました。また特別支援学校においても、校舎建て替え計画が順調に進んでいるようです。

さて、令和六年度油縄子コミュニティ推進会総会を、四月十四日に実施することが出来ました。

昨年度は、コロナの位置付けが五類に変更になり、当センターにおいては、当初計画した行事を実施することが出来喜んでいきます。特に、総務企画部で計画した三世代秋まつり、文化講演会、レク部で計画した盆踊り大会、青少年育成部で計画した夏のつどい等は、四年のブランクにもかかわらず、実施出来たことが良かったと思っています。

今年度は各部で計画した行事を去年以上に盛大に実施出来るように頑張つて参ります。

特に、去年立ち上げた環境活動委員会を中心にして「ゼロカーボンタウン油縄子」と題して取り組んできた内容を方針から実行に移す段階にしていきたいと思っています。

何をされるにも皆様方の協力が必要ですのでよろしく御願ひ致します。

皆様におかれましては、ご健康に十分注意をしてお過ごし下さいますよう御祈念申し上げます。



油縄子学区コミュニティ推進会・行事予定(7月~9月)

ステップクラブ	毎月第1・第3月曜日	油縄子広報紙	6月20日・9月20日
はつらつクラブ	毎月第2・第4月曜日	夏のつどい	7月21日
おもちゃライブラリー	毎月第1・2・3火曜日	わんぱくビレッジ	検討中
国分ふれあい茶話会	毎月第4火曜日	わくわくクラブ	検討中
油縄子ふれあい茶話会	毎月第2水曜日	盆踊り	7月28日

令和六年度
油繩子学区コミュニティ
推進会の役員等御紹介



主な役員を紹介いたします。
尚、新任者は氏名の頭に○を
付けました。

- | | |
|---------------------------------------|--|
| ◎会長
白玉敏夫 | ◎調査広報部
部長 幡 敏見
◎副部長 大西 欣四郎 |
| ◎副会長
深谷政幸 | ◎部長 風間 康子 |
| ◎顧問
嶋崎 敏
益子 功喜
嶋崎 伸彌 | ◎副部長 櫻村 均
◎協力員 幡 敏見 |
| ◎総務企画部
◎部長 照井 修 | ◎交流センター
◎会長 白土 敏夫
◎事務長 照井 修
◎協力員 櫻村 均 |
| ◎防犯・防災部
◎部長 ○嶋崎 一城
◎副部長 和田 敏 | ◎防犯・防災部
◎部長 泉 俊明
◎副部長 幡 敏見 |
| ◎環境美化部
◎部長 嶋崎 治
◎副部長 泉 俊明 | ◎防犯・防災部
◎部長 泉 俊明
◎副部長 幡 敏見 |
| ◎レクリエーション部
◎部長 根本 弘道
◎副部長 結城 秀郎 | ◎防犯・防災部
◎部長 泉 俊明
◎副部長 幡 敏見 |
| ◎青少年育成部
◎部長 福田 孝
◎副部長 和田 美紀 | ◎防犯・防災部
◎部長 泉 俊明
◎副部長 幡 敏見 |
| ◎副部長 松本 秀市 | ◎防犯・防災部
◎部長 泉 俊明
◎副部長 幡 敏見 |

各部会部長挨拶

★総務企画部

部長 照井 修

今年度のコミュニティ推進
会総会は、皆様の協力を得ま
して無事に開催出来ました。
今年度も、恒例の「三世代
ゆなご秋まつり」：「再発見ウ
オーク」の他、文化講演会と
して「フミの帽子」の上映会
を行います

諸行事について、皆様の参
加をお待ちしております。
一年間よろしくお願いいた
します。

★防犯・防災部

部長 嶋崎 一城

防犯については、青色パト
ロール等で安全安心な町づく
りを目指します。

防災についてはまだまだコ
ロナも収束していない状況で
すが、従来通りの内容で防災
訓練等実施できるようにした
と思います。

皆様のご協力のほど宜しく
お願い致します。

★環境美化部

部長 嶋崎 治

環境美化部は、空缶・空瓶

★調査広報部

部長 幡 敏見

学区の行事は、ようやく従
来通りに戻りつつあります。
当部も本広報誌、かわら版及
びホームページ等で皆様にて
きるだけお役に立てるよう努
めて参りたいと存じます。

★福祉部

部長 風間 康子

高齢者対象の「油繩子ふれ
あい茶話会」・「国分ふれあい
茶話会」や軽い体操の「はつ
らつクラブ」を毎月実施して
います。見学もできますので、
ぜひいらしてください。幼児
対象に親子で遊ぶ「おもちゃ
ライブラリー」も毎月実施し
ています。おもちゃや滑り台、
トランプンなどで遊んだり、
お母さん同士の会話も弾んで
います。皆様の参加をお待ち
しております。また、民児委
員を中心に見守り活動や巡回
安全サービズ活動なども実施
してまいりますので、今年度
もよろしくお願い致します。

★青少年育成部

部長 福田 孝

今年度の育成部は、それぞ
れの行事の中で「立ち止まる
ひと時を持ちたい」と考えて
おります。

時間に流されず少しの余裕
が必要だと思っております。そ
の中に楽しさを加える事がで
きれば、思い出は膨らみます。
主役は皆さんです。積極的
な参加をお待ちしております。



学校だより

児童が心豊かに夢を育む学校づくり

油繩子小学校 校長 石川 尚子



昭和三十年四月一日に開校した本校は、今年度、創立七十周年を迎えました。日立市の発展とともに、地域の皆様に見守られながら、多くの卒業生を送り出してきました。

四月十二日には創立記念式典を開催し、第一回卒業生をお迎えして、開校当時の学校生活や地域の様子について、全校でお話を聞きました。

当時は、運動場に石がたくさん転がっていて、先生と子供たちで石拾いをして整備していたとのことでした。今では考えられないことですが、先輩方の苦労があつてこそ今があることも忘れてはけないと思ひました。子供たちの心に残る温かな記念式典となりました。

さて、今年度は、児童数二〇八名でスタートしました。明るいあいさつと元気な声が響き渡り、子供たちは、伸び伸びと生活しています。

社会の変化が激しく、先行き不透明な時代ですが、これから生きる子供たちの将来の夢が実現するよう、豊かな心と確かな学力、体力を育んでいくことが学校の大切な役割です。そこで、本年度の合い言葉を「にっこにこなるほど 元気いっぱい」としました。子供たちが思いやりの心をもち、笑顔で生活し、たくさん学び、考え、元気いっぱい過ぎてほしいという願いを込めています。教職員一同、子供たちの声に耳を傾け、この合い言葉が達成できるように支援しているところです。

今後とも、保護者、地域の皆様の温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



運動会で頑張る児童達

第1回卒業生のお話

油繩子学区連絡委員会

五月十七日に令和六年度第一回連絡委員会が開催されました。

ゆなご保育園、諏訪かおる幼稚園、油繩子小学校、多賀中学校、多賀高等学校、日立特別支援学校、多賀駅前交番、民生委員、コミュニティ推進会役員の代表が集まり、今年度の行事などの情報交換を行いました。

多賀駅前交番所長さんからは、詐欺の手法、自転車盗難の危険性、インターネットの危険などのお話を頂きました。先生方からは、子ども達の生活面や部活動などのお話を聞かせて頂きました。

皆様と協力し、子ども達が安心・安全に過ごせる地域を目指していきたいと思ひます。

(風間 康子)



「ゴミゼロ運動」活動

先日(六月一日(日))前日より早朝の雨にもかかわらず、朝より学区内の歩道上のゴミ拾いを実施しました。

多くの紙くず、燃えるゴミ、空缶、空びん類、鉄類やタバコの吸い殻が少なからずありました。

集めたゴミは役員等できれいに分別作業を施しました。ゴミの皆無は難しいかと思ひますが、ゴミ処分に対する習慣付けでゴミが少なくなるものと思ひます。

雨模様ながら、多くの方々の御参加、御協力誠にありがとうございました。

(島崎 治)



受付は大忙し!

油繩子歴史散歩 九

嶋崎 敏

戦災の記憶 その一

日立市は第二次世界大戦で昭和二十年(一九四五)三度の戦災にあった。

日立工場を中心とした一トン爆弾による空爆であり、やはり工場を狙った艦砲射撃、市街地に対する焼夷爆弾である。

六月十日の日立工場の空爆は勿論油繩子には直接着弾はしなかったが、当日出勤していた方が被害に会い、防空壕で生き埋めになり死亡した。

七月十四日、十五日釜石、室蘭で艦砲射撃を受け、大変な被害が出たとラジオが報じていた。連合国は生産設備を狙って砲撃をしていたのである。

七月十七日の深夜、ツシンという腹に響く音で目が覚め、親子で多賀高専の寮の裏手に避難した。雨の降る中でアメリカの艦隊は電線工場、電線工場、多賀工場を狙って艦砲を発射した。しかし、雨の中、照明弾の効果はなく、後日のアメリカ軍の調査、発表によると多賀工場を狙った十六インチ砲の砲弾五三〇発の中、工場建屋に着弾したのは二五発、構内に着弾した八発と合わせても三三発で他は住宅地に着弾した。

避難した寮の周辺は後の調査で七発の砲弾が着弾していたという。砲弾は着弾すると無数の鋼鉄の破片となり八方に飛んで人を殺傷した。この地域でも油繩子、諏訪、諏訪原、下孫などの住民、多賀工場鮎川女子寮、第三女子寮の従業員、多賀高専の校長一家、および吼洋寮の寮生が犠牲となった。勿論怪我人も相当出たはずであるが具体的な記録はない。女子寮に学徒動員で来

ていた女学生は傷を受け傷口に蛆がわいたまま、迎えに来た親のりやカーで石岡まで帰ったという。また、吼洋寮の裏側に避難している時、腕の無くなった学生の傷口を私の母親が包帯してやったことをおぼえている。

この地区で戦災の犠牲となった方の数

六月十日空爆
油繩子上町 一名

七月十七日 艦砲射撃
油繩子下町 七名

油繩子仲町 三名

油繩子上町 十五名

諏訪原 十三名

桜川町 四名

鮎川女子寮(従業員、挺身隊、学徒動員) 十四名(推定)

多賀高専(校長、職員、学生)十六名
(校長家族)三名

兵隊 三名

七月十九日 焼夷弾
油繩子下町 一名

住宅地では艦砲に直撃された家が何軒もあつた。特に油繩子十文字近辺の油繩子上町では多くの人が犠牲になった。兵隊も避難の途中この近くで死亡した。

鮎川女子寮にいた従業員、挺身隊、常磐高女の生徒は、これも避難の途中、油繩子八幡神社の境内、参道で大勢亡くなった。若い女性の悲惨な遺体

をみて、ここを通った人が哀れに思

い青年会館の雨戸を外して被せてあげたという。



砲弾の破片
現在は錆びているが、当時は鋼色に光っていた



皆様、常日頃より地球温暖化防止にご協力頂きまして、有難う御座います。

当委員会としても、青パトにステッカーを貼付けたり、各地区の掲示板にポスターを展示したり啓蒙活動しております。

皆様には引き続き温暖化防止にご協力頂きたく宜しくお願い致します。



掲示板



青パト

編集後記

この五月十一日、北海道・東北・関西等でオーロラが見られたと多くのメディアで報じられた。

通常日本ではオーロラは見られない。しかし、太陽表面での巨大爆発であるフレアの場合、大量の高エネルギー粒子が放出(二回の爆発で人類の消費エネルギー数十万年分に相当)により地球環境に大きな影響を与えることは容易に想像される。

また二酸化炭素等による温暖化で水河が溶けて、従来水河が太陽光を反射し宇宙に放出されていた太陽エネルギーを地球が吸収し、さらに地球温暖化に拍車を掛ける事態も懸念されている。

この様な事態を回避するため、国連においては各国の二酸化炭素削減目標が議論されている。日立市でも二酸化炭素削減に取り組み、油繩子地区では「ゼロカーボンタウン油繩子」をスローガンに精力的な取り組みがなされている。

一人の努力だけでは、その効果は目に見えないほど大きなものではないが、みんなの力集まれば大きな効果に繋がっていくものと思います。今日の穏やかな地球環境を子々孫々へと受け継いで行きたいものです。

(大西 欣四郎)